

## 平成25年度第1回青森市健康福祉審議会障害者福祉専門分科会 会議概要

日 時：平成25年5月22日（水） 午後6時30分～午後8時

場 所：市役所第2庁舎 2階庁議室

出席委員：安保由美臨時委員、鎌田慶弘委員、河合敏雄委員、木村由紀子臨時委員、高坂芳男委員、田中文明委員、谷川幸子臨時委員、成田祥耕委員、福井宏郷臨時委員、船木昭夫委員、前田保委員 《計11名》

事務局：健康福祉部長 赤垣敏子、健康福祉部次長 貝森敦子、障害者支援課長 百田満、浪岡事務所健康福祉課長 山口朋子、障害者支援課副参事 長内哲史、同課主幹 白戸高史、同課主幹 田澤康治、同課主査 佐藤進一、同課主査 越谷美由紀、同課主査 唐川昌彦、同課主事 角田登記子 《計11名》

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 健康福祉部長あいさつ
- 3 案 件
  - (1) 「青森市障害者計画（素案）」に対する意見募集の結果及び「青森市障害者計画（案）」に対する庁内意見について
  - (2) 「青森市障害者計画（案）」の目標指標について
  - (3) 計画の推進について
- 4 その他
- 5 閉 会

### 議事要旨

案件（1）「青森市障害者計画（素案）」に対する意見募集の結果及び「青森市障害者計画（案）」に対する庁内意見について

事務局（障害者支援課長）から、資料1、2、2-①、3、4のとおり説明があった。

## 質疑応答

- 障害者の雇用について、経済部と連携して企業に指導する旨、次回は、もう少し強く打ち出してほしい。雇用の場の確保について、次の計画では、市や市教育委員会も目標を立てるよう進めてほしい。点字による採用試験にも努力してほしい。特別支援学級に専門性のある教員を配置するよう教育委員会と協議し具体的に検討してほしい。
- ・(事務局) パブリックコメントでの経済部、教育委員会等の関係部局との協議において、それぞれの担いである部分を理解してもらい前向きな回答を得ている。今後、計画を推進していく中で、進行管理をして対応していきたい。
- スクールソーシャルワーカーの役割が重要となってきているので、実施段階に向けて検討してほしい。計画の中に専門職である社会福祉士、精神保健福祉士の語句の記載が無い。これらの専門職が、実施段階の中で活かされるように検討してほしい。
- 災害時における安全確保について、医療は別と考えるのではなく、社会福祉法人のみならず医療福祉法人との連携協力についても準備すべきである。精神障害者の場合には、医療や薬品の供給についての不安が一番多い。
- 精神保健医療・福祉のビジョンは、地域で暮らすということである。精神保健医療の改革が前提となるが、退院する方への理解という部分の検討を行政として持つべきである。
- ・(事務局) 専門職である社会福祉士等は、計画の推進に当たってのキーパーソンとなりうる者であるので、これらの方々への理解も含め進めていく。また、災害時の安全確保について、実施段階で検討していく。

## 議決

案件(1)「青森市障害者計画(素案)」に対する意見募集の結果及び「青森市障害者計画(案)」に対する庁内意見について、議長が諮ったところ、全委員異議なく全会一致で了承された。

## 案件（２）「青森市障害者計画（案）」の目標指標について

事務局（障害者支援課長）から、資料のとおり説明があった。

### 質疑応答

- 雇用率は達成しないと罰則がある。罰則の無いものと同列に並べるのであれば、市や市教育委員会の目標値も一緒に並べるべきではないか。
- ・（事務局）市の障害者雇用率は、既に法定雇用率を超えているため、目標値として設定していない。
- 市の障害者雇用率は法定雇用率を達しているが、さらなる努力として設定するのであればかまわないと思う。今後の課題として取り組んでほしい。
- ・（事務局）民間企業における障害者の雇用率について、民間企業にだけ強いるということではないこと。また、青森市の上位計画で、これを目標値として掲げているので、部門別計画である障害者計画もこれに連動してこの数値を使っていることを理解してほしい。
- 数値目標について、これはこれでよいが、違う観点から言うと、市民意識調査をどのようにやっているのかが問題になると思う。毎年同じ設問で行っているのか、対象者はどのように選定しているのかなど、調査手法の確認が必要となるので、参考資料として提出してほしい。  
精神障害者が雇用率に含まれるようになった。今後、具体的にどうするのが重要になる。
- ・（事務局）市民意識調査について、どのような設問で、どういう流れでやっているかということは、後ほど委員に資料として送付したいと思う。

### 議決

案件（２）「青森市障害者計画（案）」の目標指標について、議長が諮ったところ、全委員異議なく全会一致で了承された。

